

標津 × 西南

collaboration project

【勢一ゼミ】

大西愛望・澄川うた

目次



01 はじめに

02 our vision

03 食堂・カフェ班

04 新規事業班

05 最後に



はじめに.

2020年コロナ禍で大学がオンライン授業となった際、
勢一ゼミと標津町職員とで遠方の自治体・大学との
オンライン連携を実施したことが始まりです。

初年度はゼミ生と職員がSNSを活用して
街を紹介する取り組みから実施。

その後も、学生が実際に標津町を訪れる機会をもつなど
活動の幅を広げながら、
課題解決提案づくりやPR活動を継続しています。

標津町の

関係人口増加を目指して

2025

標津・推し街化計画

あなたもきっと、標津町の虜になる。



OUR VISION

認知にとどまらず、

気になる → 知る → 関わり続けたい
= **推したい**

という気持ちを生み出すきっかけを作り、
関係人口の創出に繋げること。

食堂・カフェ班



学食を通して 標津町の「食」を届けたい。

標津町の特産品、鮭や標津牛乳。
遠く離れた福岡の学生が街と触れ合う機会はないか？

“学食”という全校生徒が利用する場所で
標津町盛り沢山の料理を届け、
身近な存在になることを目指しました。



標津祭の流れ

1

企画・交渉



- 料理の提案
- 販売価格の決定
- 標津祭の日程調整

2

試食



- 料理の味見、改善
- 価格の再設定
- 発注

3

事前準備



- ポスター作成
- シール作成
- 事前アンケート
- 告知

4

開催



- 感想の調査
- 宣伝
- 売れ行きの確認

5

振り返り



- 事後アンケート
- 売上の集計

1 鮭のちゃんちゃん焼き

→北海道の伝統料理を味わってほしいという気持ちから。

2 丸ごと鮭のクリームシチュー **New!**

→人気メニューのシチューとコラボし、誰にでも親しみのある料理に。

3 鮭とばのポテサラ **New!**

→手に取りやすい副菜という観点で、気軽に鮭を楽しめるように！

4 キャラメルアップルフラッペ

→標津牛乳だからこそそのフラッペの味わい！

5 生キャラメルクロワッサン **New!**

→学食を利用しない人にも標津を体験してほしいから

01 企画・交渉

～意味と現実性のある企画を～



02 試食



売れ残りをできるだけ減らすために、

価格・味・見た目を確認する試食会。



「食べて見ないと分からない」ことを発見し、

より良い料理を提供できるように

ギリギリまでアイデアを出し合いました。

発注

シール作成

カフェ班では、ゼミ生1人1人が書いた標津町にまつわるイラストをシールにする取り組みを実施。
フラップの容器に貼る作業をしました！

ポスター制作

食堂に貼るメインのポスターを制作。
インパクトが残る、かつ見やすいデザインを意識。
学内を赤く染める標津祭の準備を！

告知

SNS班を設けて、Instagramで事前に告知！
学校のアカウントとコラボも実施。
また標津祭のポスターを1週間前から学内に展示しました。
ビラ配りも行いました。

事前アンケート

部活動生や学生にアンケートを実施。
標津の読み方や位置などを質問。
期間前から意識してもらうことを狙いに！



03

事前準備

とにかく

視覚化

を意識しました。



計5日間、
コラボ料理を学食・ライブラリーカフェにて
販売しました！

標津町×勢一ゼミ×生協

カフェ！
キャラメルアップルフラッペ

会館！
鮭とばのポテサラ

会館！
まるごと！鮭のクリームシチュー

会館！
鮭のちゃんちゃん焼き

カフェ！
北海道生キャラメルクロワッサン

あなたもきっと、
標津町の虜になる。

SHIBETSU FESTIVAL 2025

標津祭

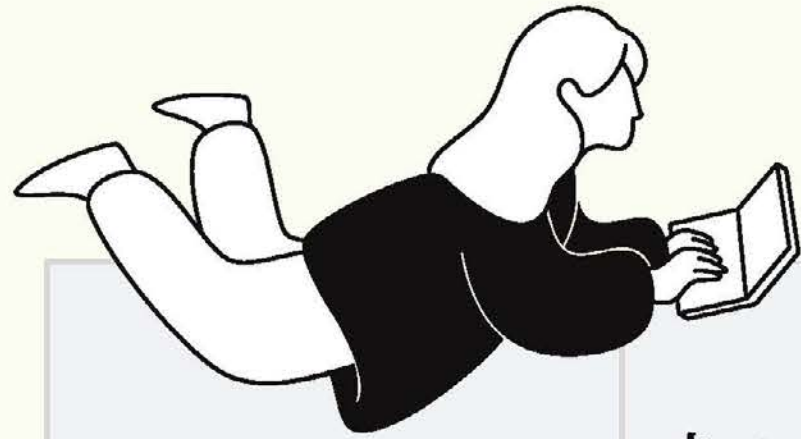
10.27-10.31

ゼミ生も美味しく頂きました！

シチューは大人気で昼前には完売した時も！

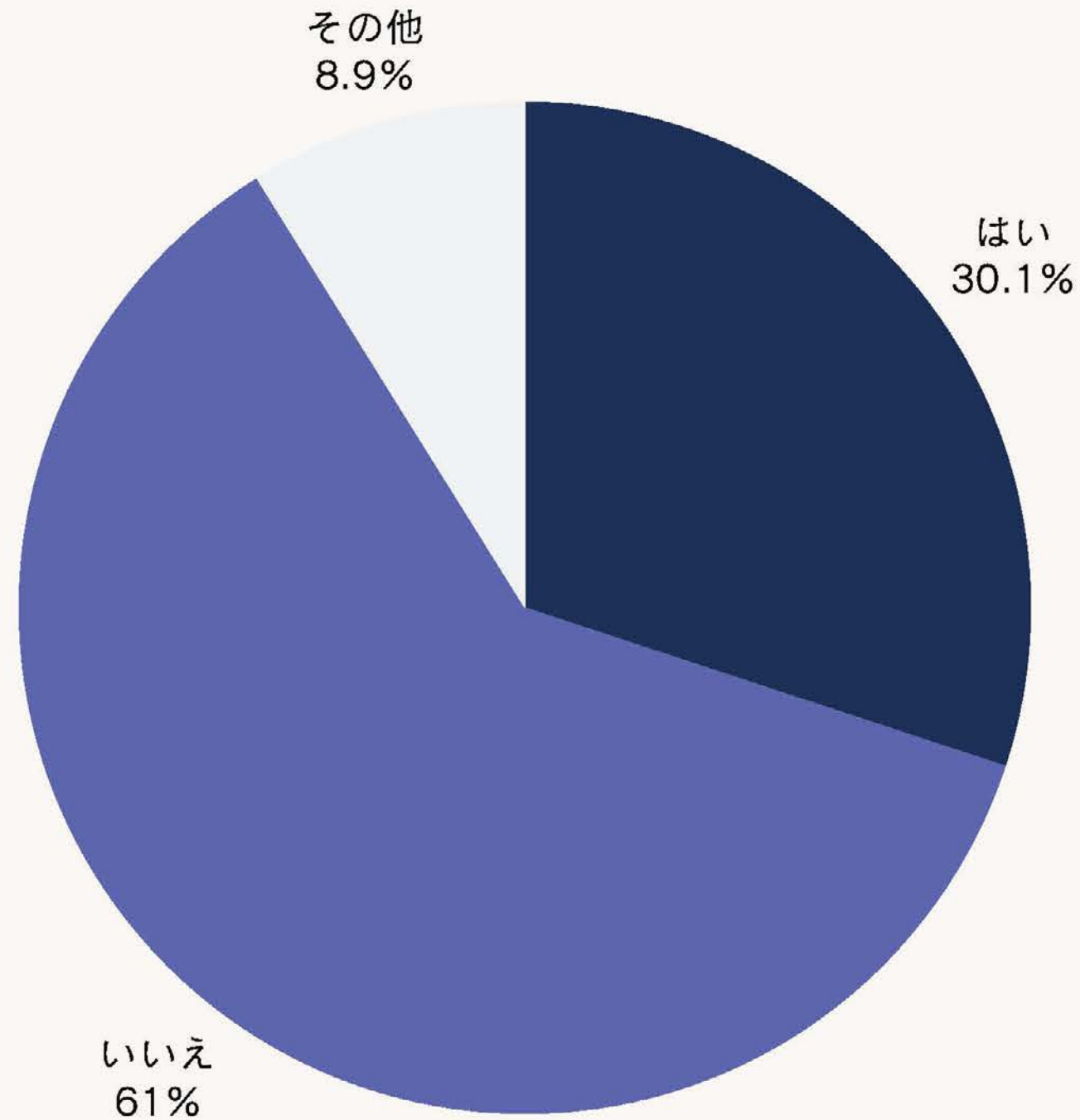
活動実績

好評で完売日も出ました！



	鮭の ちゃんちゃん焼き	鮭とばの ポテサラ	丸ごと鮭の クリームシチュー	キャラメルアップル フラッペ	生キャラメル クロワッサン
販売予定個数	200食	350食	300食	200杯	150個
売上個数	173食	313食	293食	224杯	150個
販売価格	¥385	¥99	¥385	¥600 <small>※学内生は500円</small>	¥220
総売上	66,605円	30,987円	112,805円	112,279円	33,000円

標津町って読めますか？



※但し事前・事後で母数は異なる

アンケート結果

標津町と読むことができる人を増やしたい！という思いから、『**標津町って読めますか？**』という質問を在校生に行いました。

●期間前

はい→30.1%

いいえ→61%

標津と読むことができるのは全体の3割。

標津という漢字が
学食をきっかけに読めるようになった
→期間後は約4割に増加！

昼には売り切れていて
食べる事が出来なかった

牛乳が濃厚！

パンが食べにくい..

VOICE

福岡で北海道の食を
味わえて嬉しい

学食に日本酒が欲しいくらい
美味しかった。
(鮭とばのポテサラ)

期間限定ではなく、
定番化してほしい！

アンケートを踏まえて 気が付いた点は、、、？

・料理を食べれなかった人が多くいたこと

期間が短く食べることができなかった
食べようと思ったら売り切れていたという声が多くあった。
より多くの西南生に届けられるような対策が必要だと思う。

・『標津町』という存在が西南学院大学の中で大きくなったこと

町の読み方に関するアンケートや、特産品がすぐに分かるメニューによって、
標津町という町のことを知るきっかけができたと思う。
また、アンケートの数字からも標津町と読める人が増えていることから、
西南学院大学の中で標津町PRが成功したと考える。



来年度の活動で 活かしたいことは？

• 料理の分析の強化

新メニューが好評だったこともあり、毎年同じでなければいけないというよりも、需要に合わせた企画が大切。例えば、寒い時期のフラッペは売れるのか？ホットドリンクの方が良いのか？ニーズの分析を来年度さらに強化していきたい。

• さらなるSNSの活用

多くの学生に食べてもらうことが出来たが、中には知らなかったという声も。より多くの関係人口を増やすためには、まず知るという入り口を作るべきだと考える。そのためにはさらなるSNSの活用や、そもそものフォロワーの増加に力を入れたい。



新規事業班

もっと多くの人に 標津町を知ってほしい

西南学院大学の人達だけでなく、
福岡の人にも標津町を知ってほしい。

『展示』という表現を選んで、
勢一ゼミ初の学外へ飛び出しました。



01

ふるさと納税

標津町
ふるさと納税 逸品紹介
魚介類

新巻鮭
北海道標津町で
獲れた鮭を100%
さけ、標津町の
加工された、
純度100%大鮭

鮭ほぐし
えば
手大山(鮭)
高森の
標津産物

ふるさと納税紹介

02

標津町の水族館
サ-モン科学館
サ-モン科学館
サケ科魚類と標津周辺で
暮らす魚たちがいま
サケの水族館

体験コーナー
名物。サザメ指パク体験
今。ウサメに指を食われる??
指パク高証明もらえます!!

他にも...
サケの解剖見学
シロサケの稚魚放流体験etc

9:30-17:30
16:30まで

標津町 interview

03

標津町伝説

えば
鮭ほぐし
手大山(鮭)
高森の
標津産物

標津町伝説

企画内容

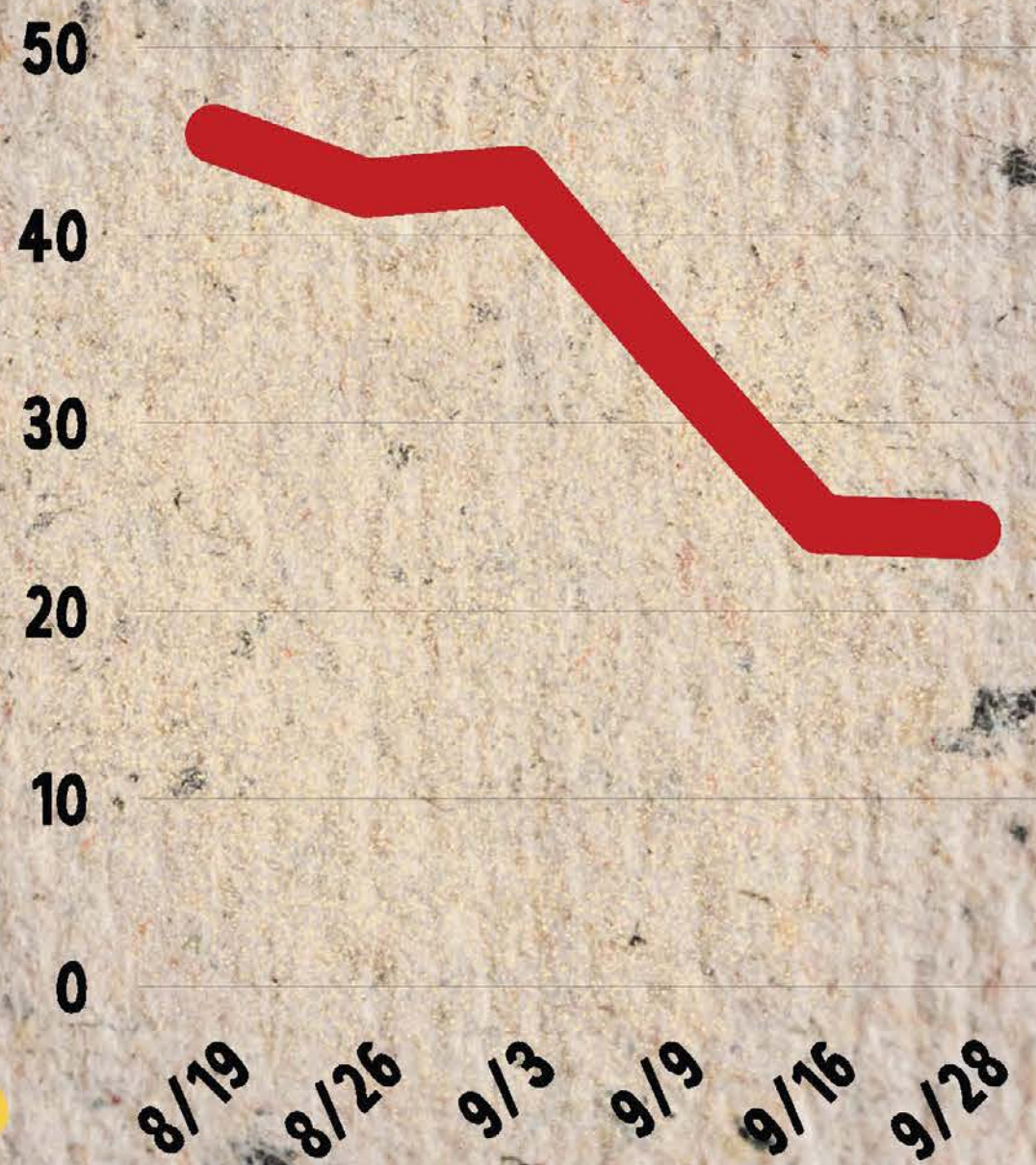
01 ふるさと納税紹介

Instagram 発信

投稿例



SNSリーチ数



人気な商品
標津町の気候と食材の関係性
消費者への思いetc....!


コラボメニューで
使用した食材

展示


標津町 (一部)

ふるさと納税 返礼品紹介

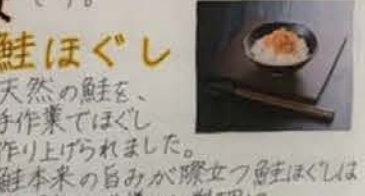
魚介類



新巻鮭
北海道標津町で獲れた鮭をセリで買い付けされ、標津町内の工場加工されています。純度100%天然ものです。



いくら
しょうゆ味



鮭ほぐし
天然の鮭を、手作業でほぐし作り上げられました。鮭本来の旨みが際立つ旨ほぐしは、お粥やご飯の料理に。

標津町といえば、標津町沖で獲れた秋鮭の卵を丁寧に手ほぐし、自家製のブレンド醤油で味付けされています。素材のうまみを生かすため、添加剤や甘味料は不使用です。

北海しまえび

北海しまえびの漁期は、約1か月ほどと短く、北海道の中でもきれいな海にしか生息しないといわれる貴重なえび。浜上げ後すぐに塩茹でし、本来の美味しさを封じ込めました。アリアリの歯ごたえ、しっかりとした旨みと濃厚な味噌の甘さは扱きんでしています。

通称「酔っ払いエビ」
「北海しまえび」を生きたまま、まろやかな紹興酒と羅臼昆布出汁の醤油を組み合わせた特製のタレに漬込んで完成した贅沢な一品です。

ほろ酔い 縞恵美

北海道産 帆立貝柱
清らかな海で獲れた天然の帆立貝。春に揚がったばかりの帆立貝の貝柱を標津町内の工場ですべて剥きました。

高級特の特の毛ガニ
北海道知床標津町産、身がコンパクトな毛ガニです。濃厚なカニ味噌と旨みが特徴です。

牛乳・加工食品等

自然に恵まれていている標津町では、魚介類だけでなく、畜産物も豊富です。

こだわりハム・ソーセージセット
結着剤や保存料を一切使わず、香辛料だけで作ったハム、ソーセージです。豚は、こだわりの国産配合飼料や遺伝子組換えをしていないエサを食べて育ちます。時期になると広い放牧地へ出て放牧飼育しています。

しべつ牛乳
標津町産牛乳の中でも乳質・乳成分にこだわって厳選した生乳を風味を損わない85度で15分間じっくり殺菌した牛乳です。

標津チーズ
標津町産生乳で作られた程よい塩分とコクとうまみが凝縮された一品です。そのまま切ってお酒のおともや子供の

北海道にゆかりのある方



ふるさと納税を検討している方

様々な方が興味を持ち立ち寄ってくれました

02 標津町Interview

標 津 町 役 場
サ ー モ ン 科 学 館

現地の方にインタビューしました↓

働く理由は？



故郷が好きで守りたい

良い仲間に出会った場所で
恩返しがしたい

地元で楽しく働きたい

標津町の目指す未来は？

笑顔溢れる元気な町

Interview
※1部抜粋

金山の謎の財宝 朝日さす夕日さす

caption

かつて豊かな自然と財宝を守るアイヌの村があった。
しかし宝を狙う者たちに村は襲われ
村長ヨコウシは財宝を隠し村人を逃がすために自らの命をかける。
残された手がかりはただ一つ。

「朝日さす、夕日さす」
金山の地に眠る財宝の謎をめぐる物語





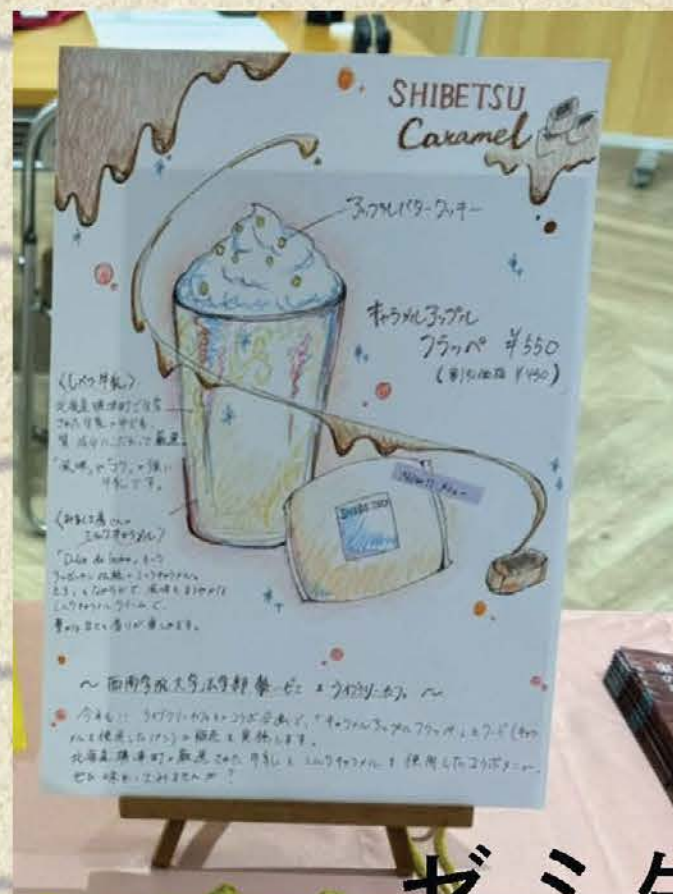
Workshop

『みんなで紙芝居を作ろう！』

展示の様子



標津町の風景や暮らしを
動画で発信



ゼミ生手書きポスター

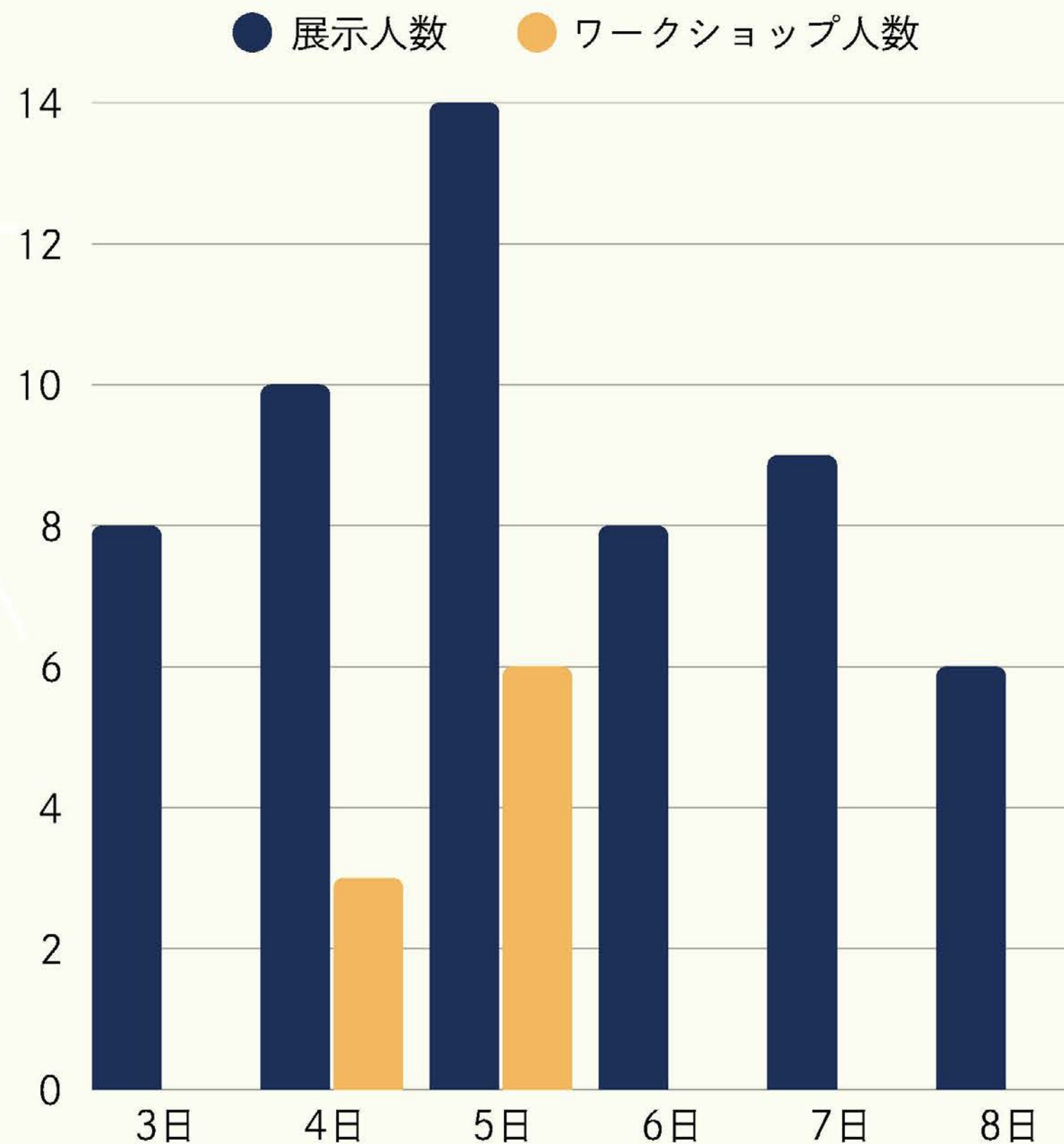


姪浜展示参加人数

集計人数は実際に立ち寄り会話した方的人数

(ゼミ生不在時に立ち寄ったお客様は含まない)

ワークショップは4日、5日のみ開催



ゼミ生にアンケート

振り返り



Good or Bad



良かった点

#準備編

GOOD POINT

事前の準備(模造紙やチラシなど)
があり助かった

ゼミメンバーと協力できた

展示や広報の内容で標津町の方に
アドバイスを頂けたこと

初日から最終日にかけて企画が
ブラッシュアップされていた

役割を分担
会場抑えや物品の準備などを行えたこと



良かった点

#展示編



ゼミ生全体の個性を表現できた
例えば
模造紙の作成やカフェ班の宣伝ポスターなど

声掛けを行いお客様と
お話ができた

ビデオ映像を流すことで
興味を持ってくれる人が多かった

しおりの裏に
標津祭り(学食・カフェ事業)の宣伝を
行い関心を持ってくれた

ゼミ生が見える所にいる
▶お客様が入りづらい雰囲気
裏で待機、お客様が来たら話しかけに行く
▶**1番お客様が入ってくれたと実感**

反省点

Problem

#準備編

夏休みをもっと有効活用して
構成を練りたかった

『標津の方』の
ニーズを考えるべき

グループ内で定期的な
打ち合わせが足りてなかった

事前に会場の視察へ複数回行き
どんな層の方が来るか
知っておくべきだった

SNSに力を入れた班を作り
事業と宣伝の役割を分けた方が良かった



反省点

Problem

#展示編

体験型のイベントの呼び込みに
工夫がいたと思った

ゼミ全体の活動から
新規事業班の活動になる傾向があった

もっと標津町を知った上で
展示したかった

ワークショップの参加率が少なかった
▶簡単な工作があればよかったかも

ゼミ生がいない時に
お客様が来るので
もっとお客様と関わりが欲しかった



新規事業を行ってみて



標津町を福岡の人が知るきっかけに

展示に立ち寄ってくださった方の多くは中高年齢層の方であり、長年生きているけど初めて知ったというお声もあった。今回の展示を通して標津町を福岡で暮らす方が知る大きなきっかけになった。



前もって準備する大切さ

企画時は中々案が出ず、出ても実行に至らないことも多々あった。メンバーの事情とも考慮しながらどのように進めるか事前の計画が必須であると強く実感した。

次年度の活動にむけて

早めに、色々な情報を

今回の企画で新規事業班全員がもっと早めに行動すべきだったと感じている。そして標津町の理解を深め、知ってから展示をしたら標津町のより良い魅力を発信できただろう。例年活動前に標津町へ視察へ訪問しているが今年は活動後に視察があった。私たちは視察に行ったからこそわかる標津町の魅力を次年度の企画の力になれるように正確に伝えたい。

宣伝力を上げる

校内や宣伝力が弱かった。公的な施設は許可が得られずらいため会場付近の施設内に協力をお願いするなど
宣伝の幅を広げるとより多くの人に知って頂けたと思う。
SNS面ではリーチ数下降しているのでINSTAGRAM運用を早めに行うこと、他の媒体での宣伝方法を考えて、標津町の存在を知れるきっかけを増やしたい。



05 最後に



振り返ろう！

OUR VISION

認知にとどまらず、

気になる → 知る → 関わり続けたい
= 推したい

という気持ちを生み出すきっかけを作り、
関係人口の創出に繋げること。

推し街化は、
達成できたのか？

活動を通して、
標津町のことを『知る』ことまでは達成できた。
しかし、『推したい』という気持ちを生むきっかけを作ったか？
という面で考えると、私達だけの主観的な判断は難しい。

だが、新規事業の開拓や、新メニューの導入など、
標津町に繋がる新しいパイプを昨年度より増やせたと感じる。
推すための導線づくりはできたため、
相手の行動に繋がるどころまで、
目指すことが必要だと学んだ。





Thank you for listening.

【勢一ゼミ】

大西愛望・澄川うた